

経営情報

- VOL. 1 : 平成19年12月 ■VOL. 2 : 平成20年7月
- VOL. 3 : 平成21年4月 ■VOL. 4 : 平成21年10月

■内容サンプル88. 手話というもう一つの美しい言語

音声情報を手話による視覚情報化の進展のお手伝いできればと、また、少しでもろう者の人たちの希望がもてるお手伝いできればと65歳の社会保険労務士である私は調布の手話教室で勉強中です。早いもので1年を過ぎましたが、先週の手話教室で全日本ろうあ連盟の60周年を記念する映画「ゆずり葉」の上映運動が展開されているのを知りました。インターネットで予告編を見、映画も観たいと思っています。譲葉（ゆずりは）とは、太平洋側の暖地の林中などに生える 背の高い木で庭木などに使われています。新葉が生長して古い葉が落ち、新旧交代がはっきりしていることから「譲る葉っぱ」、それが「譲葉」になったようです。別名「親子草(おやこぐさ)」とも言われています。新しい葉が出てくると古い葉を落とす植物のうちの代表的な木で、新年を迎えることになぞらえて、正月の飾りにも使われます。

私は、40年間で発展途上国を中心に100カ国以上訪問していますが、言葉が通じずに苦しんだものです。手話を学習しだして、手話は言語であり希望の言葉だと感じるようになり始めました。手話をしっかり学習して、ろう者の人たちと真の会話をしたいと希望しています。